ＰＣＸ S-Stage ECO ボアアップキット　取扱説明書

（レギュラーガソリン仕様）

・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

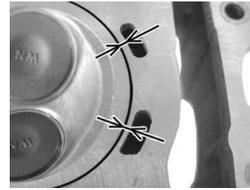
商品番号　　：０１－０５－００６４
適応車種　　：ＰＣＸ
フレーム番号：ＪＦ２８－１０００００１～１０９９９９９

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

！確　認！

個体差によりノーマルシリンダーヘッドのウォータージャケットの位置が大きくずれているものがあります。ウォータージャケットのずれが大きくなり、ボアと近くなりすぎるとこのキットは使用出来ませんので必ず付属のヘッドガスケットを取り付け、ウォータージャケットの位置ずれを確認して下さい。

シリンダーヘッドにノックピン、付属のヘッドガスケットを取り付ける。

ヘッドガスケットのボアを鉛筆等でなぞる。

ウォータージャケットとの距離を（目安として１mm以上あるか）全周確認する。
近すぎたり、無い場合は使用出来ません。

ボアアップシリンダーに対応したシリンダーヘッドを用意しております。詳しくは最終ページをご確認下さい。

！Ｆ.Ｉ.コントローラーについて！

Ｓ-Ｓｔａｇｅ　ｋｉｔのみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ずＦ.Ｉ.コントローラーをご使用下さい。

！デコンプについて！

デコンプを取り付ける場合は純正カムシャフトの分解、プーラー、プレス等の特殊工具が必要になります。
デコンプを取り付けない場合でも使用上問題はありません。

！クラッチセンタースプリングについて！

当製品やマフラー等の組み合わせにより、ドライブベルトの滑りが生じる場合があります。この場合、弊社製クラッチセンタースプリングをご使用下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付けると排気量が原付２種を越えるため、一般公道の走行は出来ません。一般公道を走行すると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。
◎スパークプラグは、まずノーマルにて電極部の焼け具合を確認し、個々の車両に合った番数を決定して下さい。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎当製品の取り付けはエンジン脱着作業が必要です。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
◎取り付けの際には工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎当製品を取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行には不向きです。

⚠注意
この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）

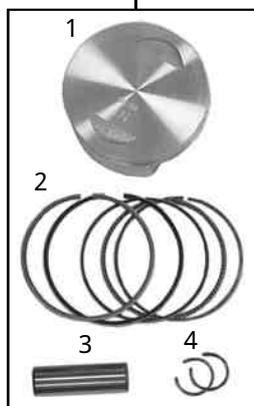
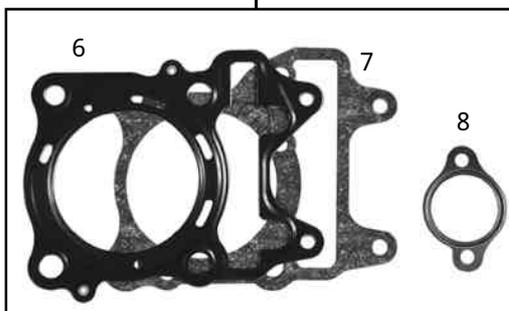
⚠警告
この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

Aug./06/ 14

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～商　品　内　容～

０１－０２－０１５４

０１－１３－０１１６

番号	名称	個数	リペア品番	入数
1	ピストン　６１mm	1	００－０１－０３６０（ピン、サークリップ付）	1
2	ピストンリングセット　６１mm	1	００－０１－１０７２	1
3	ピストンピン　１３mm	1	１３１１２－１６５－Ｔ０２	1
4	ピストンピンサークリップ　１３mm	2	００－０１－０００３	6
5	シリンダー　６１mm	1	０１－０１－０１１０	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1	００－０１－１０６９	1
7	シリンダーガスケット	1	００－０１－１０７０	1
8	テンショナーリフターガスケット	1	００－０１－１０７１	1
9	カムシャフト（Ｓ２５Ｄ）	1	０１－０８－０１４９	1

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
　尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

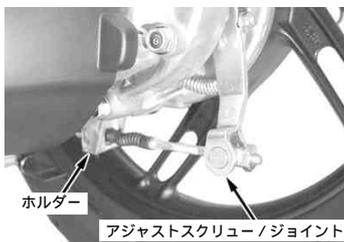
～取　り　付　け　要　領～

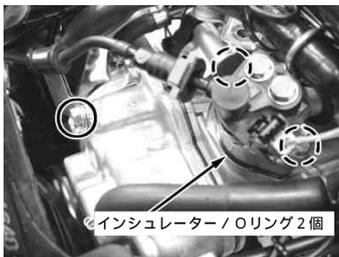
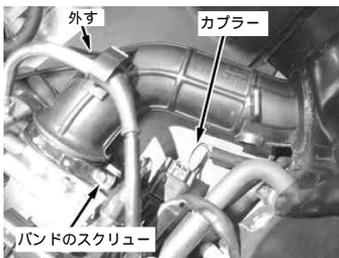
※水平で安全な場所でセンタースタンドを用いて車両を確実に支える。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行う事。
※取り外したボルトやナットや各パーツは無くさないよう、どの場所に使用するのかわかるように保管する事。

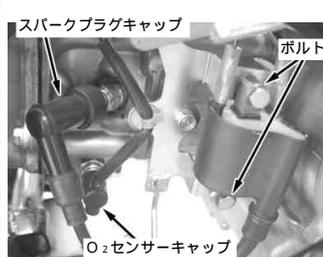
●カバー類取り外し

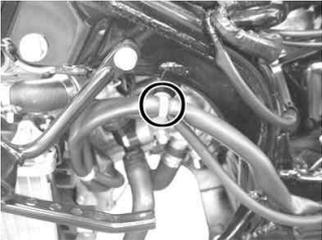
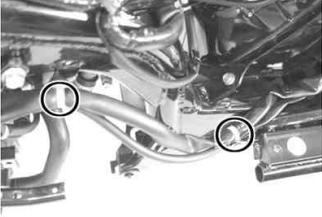
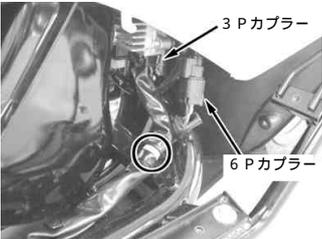
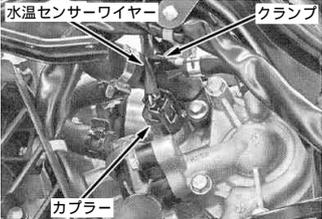
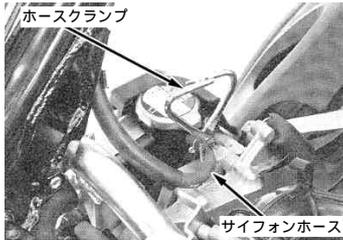
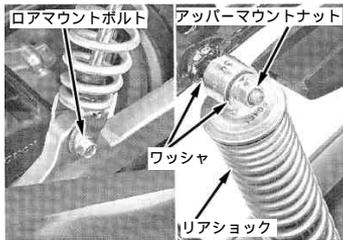
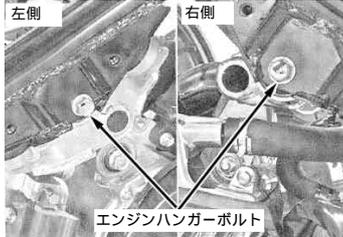
・ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、下記カバー類を取り外す。
フロアマット、サイドカバー、フロントグリル、メータパネルカバー、R.インナメンテナンスリッド、センタカバー、インナカバー、グラブレールカバー、グラブレール、ボディカバー、フロントカバー、フロアステップ、ラジエターリザーブタンクリッド、バッテリメンテナンスリッド、ラゲージボックス

●エンジン取り外し

※ホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照する事。
・リアブレーキアームのアジャストスクリュー／ジョイントを取り外す。ホルダー部からリアブレーキケーブルを取り外す。

・ボルトを取り外し、リアブレーキケーブルクランプを取り外す。

・ボルトを取り外し、フューエルホースクランプをシリンダーヘッドカバーから取り外す。２本のボルトを取り外し、シリンダーヘッドからインテークマニホルドを取り外す。インシュレーターとＯリング２個を取り外す。

・コネクティングチューブからスロットルケーブルを外す。バンドのスクリューを緩め、コネクティングチューブからスロットルボディーを外す。車速センサーの３Ｐカプラーの接続を外す。

・ボルトを外し、クランクケースからアースケーブルを外す。

・Ｏ２センサーキャップを１／２回転以下回し、センサーから取り外す。スパークプラグキャップを取り外す。イグニッションコイルの配線２本の接続を外す。ボルト２本を取り外し、イグニッションコイルを取り外す。

・O₂センサーの配線の接続を外す。２本のボルトを取り外し、イグニッションコイルステーを取り外す。

・クランクセンサー６Ｐカプラーとコントロールユニットから３Ｐカプラーの接続を外す。４ヶ所のバンドボスをフレームから外す。

・シリンダーヘッドの水温センサーのカプラーの接続を外す。水温センサーワイヤーのクランプを外す。

・ホースクランプをラジエターのサイフォンホースに取り付け、ホースの接続を外す。

・フレーム下部にジャッキなどをかけ、リアショックを無負荷の状態にする。左右のリアショックのロアマウントボルト及びアッパーマウントナット／ワッシャ各２枚を取り外し、リアショックを取り外す。

・左右のエンジンハンガーボルトを取り外し、エンジンをフレームから取り外す。

●エンジン分解

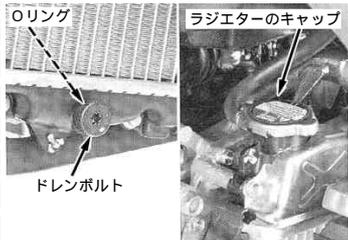
１．マフラー取り外し

・シリンダーヘッド側のナット２個を取り外す。

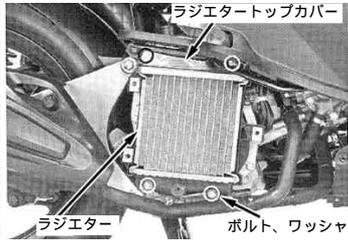
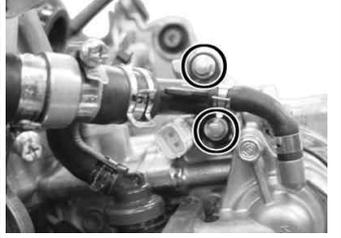
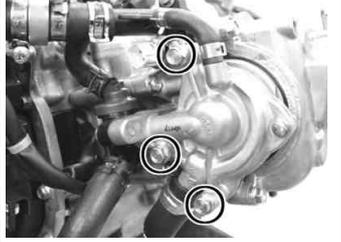
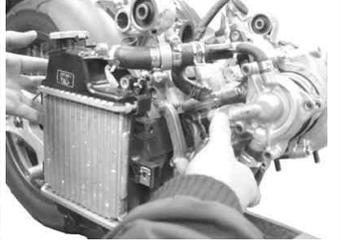
・３本のマフラーマウントボルトを取り外しマフラーを取り外す。

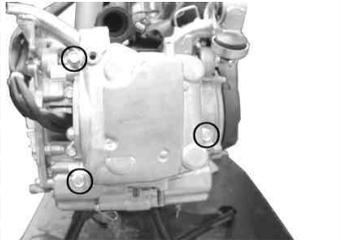
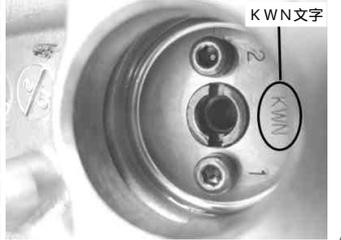
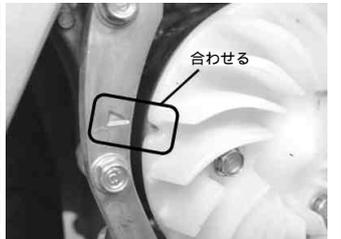
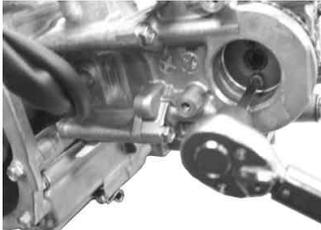
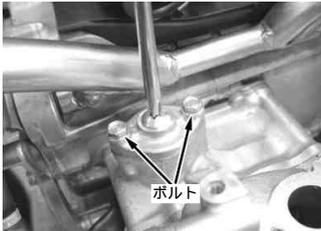
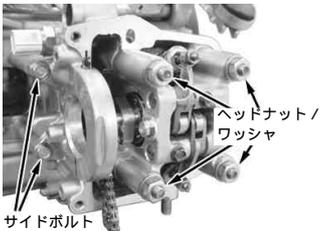
２．冷却水の排水、ラジエター／ポンプの取り外し

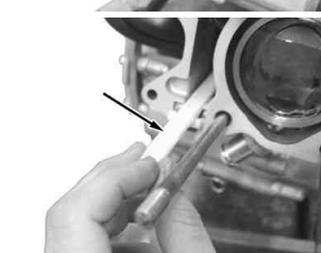
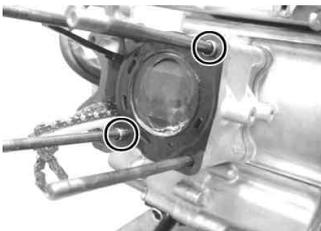
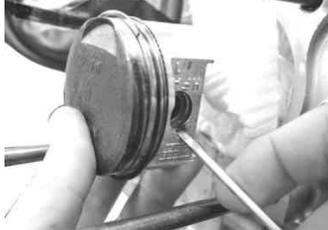
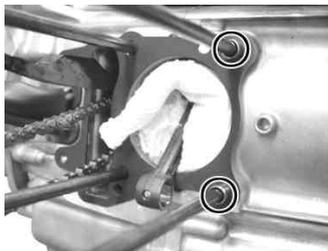
・ボルト３本を取り外し、ラジエターカバーを取り外す。

・ラジエターのキャップとドレンボルト／Oリングを取り外し、冷却水を排出する。排出後はキャップとドレンボルト／Oリングを仮止めし、異物の混入を防ぐ。

・シリンダーのドレンボルト／シーリングワッシャを取り外し、冷却水を排出する。

・シリンダーのウォーターホースの接続を外す。

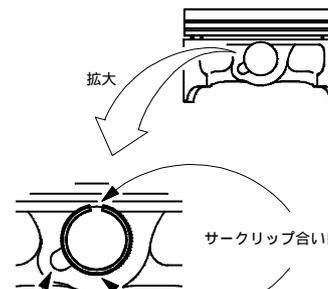
・ボルト、ワッシャ４本を取り外し、ラジエタートップカバーとラジエターを取り外す。

・ウォーターポンプのマウントボルト３本を取り外す。ウォーターホースジョイントの２本のボルトを取り外す。

・ラジエター／各ウォーターホース／ウォーターポンプをエンジンから取り外す。

３．シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンの取り外し

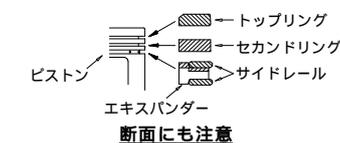
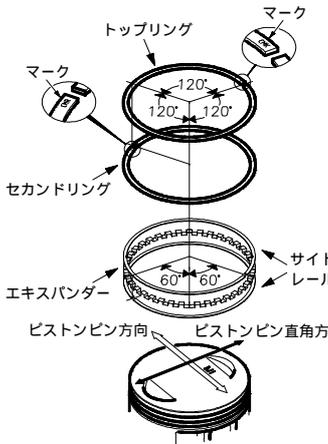
・３本のボルトを取り外し、ヘッドカバー及びラバーシールを取り外す。

・クーリングファンを時計方向に回し、クーリングファンの切り欠き部（Ｔマーク）とラジエターベースの合わせマークを合わせる。
カムスプロケットの合わせマークがヘッド面と合い、ＫＷＮの文字が前方を向いていることを確認する。

・ボルト２本を取り外し、カムスプロケットをカムシャフトとカムチェーンから取り外す。

・カムチェーンテンショナーのスクリューを取り外しておく。ボルト２本を取り外し、カムチェーンテンショナーを取り外す。

・シリンダーヘッドサイドボルト２本を取り外す。シリンダーヘッドナット４個を対角に数回に分けて緩め、ワッシャ４個と共に取り外す。

・シリンダーヘッドを取り外す。

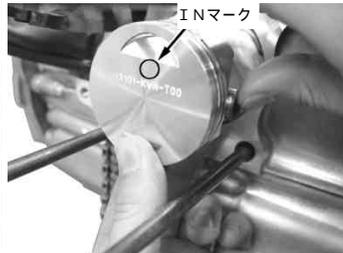
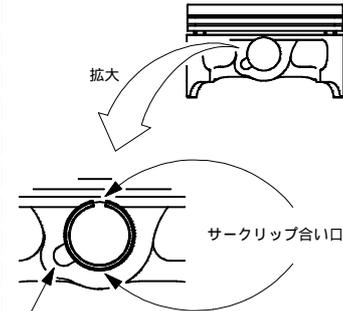
・ノックピン２個は再使用するので取り外しておく。カムチェーンガイドを取り外す。

・ピストンピンサークリップの片側を取り外す。ピストンピンを外してピストンを外す。

・シリンダーガスケットとノックピン２個を取り外す。

・クランクケースのシリンダー取り付け面をきれいにする。

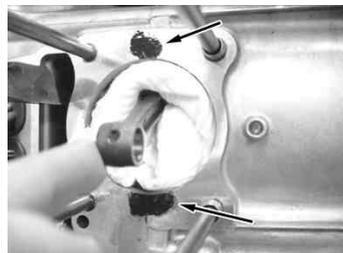
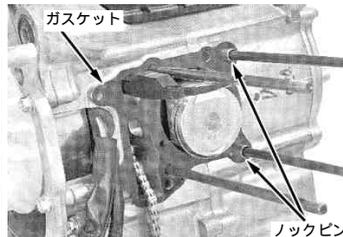
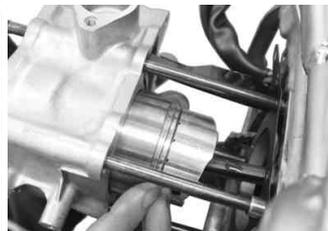
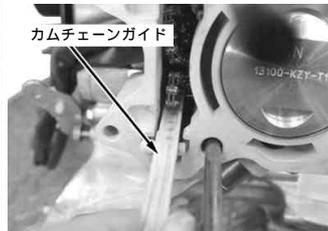
●キットの取り付け

１．ピストン取り付け

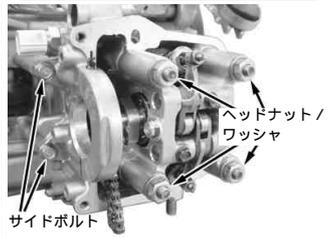
・付属のピストンの片側のサークリップ溝にピストンピンサークリップをはめ込み、サークリップの合い口をピストン上下方向に向ける。

・ピストンリング溝にエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、下オイルリングサイドレール、上オイルリングサイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。

トップリング
マーク
マーク
120°
120°
120°
セカンドリング
エキスパンダー
サイドレール
60°
60°
ピストンピン方向
ピストンピン直角方向

断面にも注意

・コンロッド小端部、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布しピストンピンにモリブデングリスを塗布し、ピストン頭部にある“ＩＮ”マークをインテーク側に向け、ピストンピンを取り付ける。

・もう片側のサークリップ溝にピストンピンサークリップをはめ込み、サークリップの合い口をピストン上下方向に向ける。

２．シリンダー、シリンダーヘッドの取り付け

・クランクケースに詰めていたウエスを取り除く。
・クランクケースの画像の記す箇所にシール剤を薄く塗布する。
シール剤：スリーボンド５２１１Ｃ又は相当品

・クランクケースにノックピン２個と付属のシリンダーガスケットを取り付ける。

・ピストンリング部にエンジンオイルを塗布し、なじませる。シリンダー内周部を清掃した後にエンジンオイルを塗布する。カムチェーンをシリンダーに通し、ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーを取り付ける。

・カムチェーンガイドをクランクケースの溝とシリンダーの溝に合わせて取り付ける。シリンダーにノックピン２個と付属のシリンダーヘッドガスケットを取り付ける。

・カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける。

・ヘッドワッシャ４個、ヘッドナット４個を取り付け、対角に数回に分けて規定トルクにて締め付ける。サイドボルト２本を取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ヘッドナット
：２７Ｎ・ｍ（２.８ｋｇｆ・ｍ）
サイドボルト
：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

3．カムシャフトの取り付け

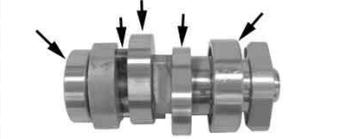
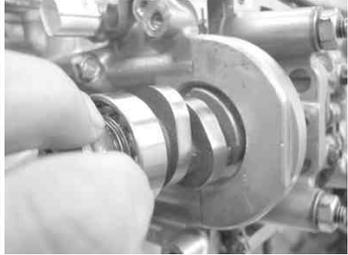
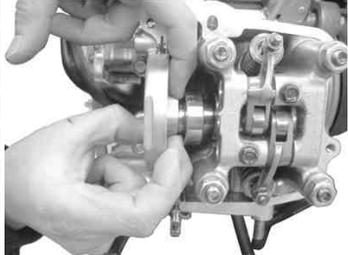
・タペットアジャストロックナットを緩め､タペットアジャストスクリューを一杯まで緩める。
・カムシャフトストッパーボルトを外しカムシャフトを抜き取る。

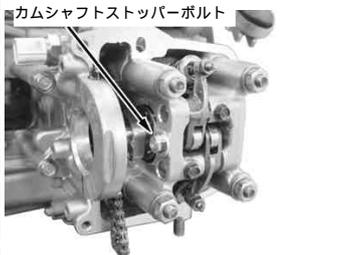
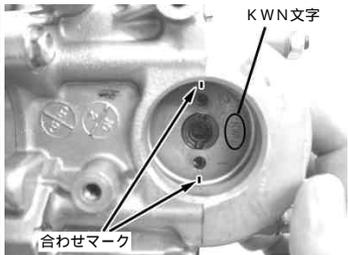
・カムシャフトを下の写真の位置まで抜いたらカムシャフトを１８０゜回転させ抜き取る。

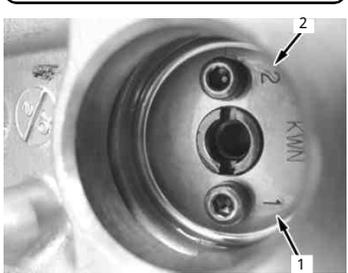
●デコンプパーツの取り付け

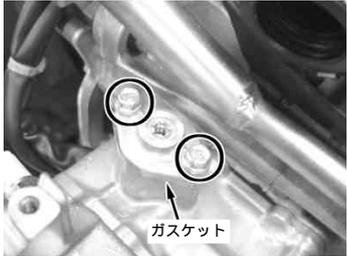
※デコンプパーツは取り付けなくても使用上問題は有りません。
※取り外し、取り付けにはベアリングプーラーやプレス等の特殊工具が必要となります。
・ノーマルカムシャフトのベアリングを外しノーマルカムに取り付けられたデコンプパーツを取り外す。
取り外す際にスプリングによって部品が飛び出すので写真を参考に部品を取り外す。

・逆の手順で付属のカムに組み付け､ベアリングを圧入する。

・付属のカムシャフトのカム部、ベアリング部、取り付けた場合はデコンプ部にエンジンオイルを塗布する。

・抜き取った逆の手順でカム山をシリンダーヘッド上部に向けてカムシャフトを取り付ける。

・カムシャフトを下の写真の位置まで挿入したらカムシャフトを１８０゜回転させ取り付ける。
※入れ難い場合でもハンマー等は使用しない。

◇カムシャフトストッパーボルトを規定トルクで締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

・クーリングファンの切り欠き部（Ｔマーク）とラジエターベースの合わせマークが合っていることを確認する。カムスプロケットの合わせマークがヘッド面と合い、KWNの文字がエンジン上の位置になるようにカムチェーンに取り付け､カムシャフトに取り付ける。

・ボルト２本をカムスプロケットの番号通りに規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：８Ｎ・ｍ（０.８ｋｇｆ・ｍ）

・カムチェーンテンショナーのストッパーを時計方向に回し、リフタ部をロックする。
カムチェーンテンショナーに付属のガスケットを取り付け､ボルト２本にてシリンダーに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

・反時計方向にストッパーを回し、リフタ部のロックを解除する。スクリューをカムチェーンテンショナー取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：４Ｎ・ｍ（０.４ｋｇｆ・ｍ）

・ロッカーアームのタペットアジャスティングスクリューを締め込んでいき、タペットアジャスティングスクリューとバルブステムエンドの間にシックネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットアジャスティングナットを締め付ける。
バルブクリアランス
ＩＮ：０.１０±０.０２mm
ＥＸ：０.２４±０.０２mm

・タペットアジャストスクリューロックナットのねじ部と座面にエンジンオイルを塗布する。
・シックネスゲージを差し込んだ状態でアジャストスクリューを固定し、ロックナットを規定トルクで締め付ける。

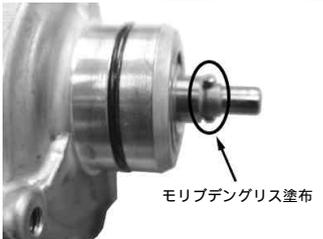
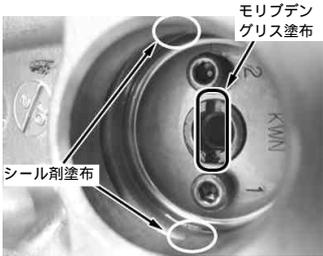
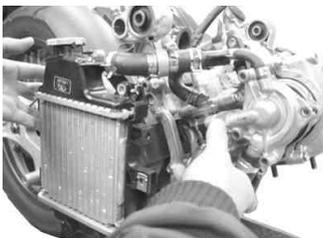
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

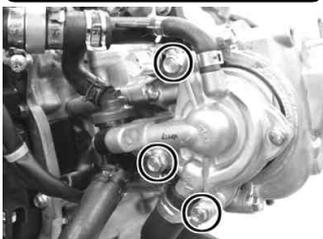
・タペット調整後､反時計方向にフライホイールを２回転回した後で“Ｔ”マークと“Ｏ”マークタイミングマークを合わせる。
・タペットすき間が変化していないか点検し、すき間が合っていればＯＫ、変化している場合は調整する。この作業を合うまで繰り返す。
・シリンダーヘッドの画像の記す箇所にシール剤を塗布する。
シール剤：スリーボンド５２１１Ｃ又は相当品

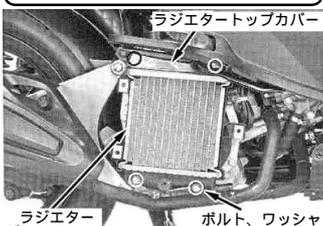
・ラバーシールがヘッドカバーの溝にしっかりはまっているか確認し、３本のボルトにてシリンダーヘッドに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

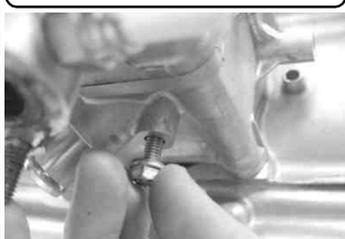
4．ラジエター／ポンプの取り付け

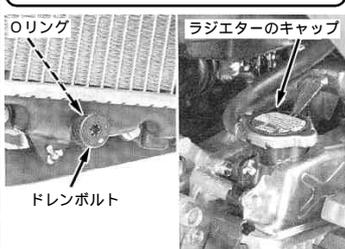
・シリンダーヘッドの画像の記す箇所にシール剤を塗布する。カムシャフトとウォーターポンプシャフトの接合部にモリブデングリスを塗布する。
シール剤：スリーボンド５２１１Ｃ又は相当品

・カムシャフトの溝とウォーターポンプシャフトのピンを合わせながらラジエター／各ウォーターホース／ウォーターポンプをエンジンに取り付ける。

・ウォーターポンプをマウントボルト３本にて取り付ける。ウォーターホースジョイントを２本のボルトにて取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

・ボルト、ワッシャ４本にてラジエター／ラジエターカバーを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

・ウォーターホースをシリンダーに接続しホースクランプを取り付ける。

・シリンダーにドレンボルト／シーリングワッシャを規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

・ラジエターにドレンボルト／Ｏリングを規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１Ｎ・ｍ（０.１ｋｇｆ・ｍ）

5．マフラー取り付け

・マフラーをセットし、３本のマウントボルトを仮止めする。

・シリンダーヘッド側のナット２個を仮止めする。

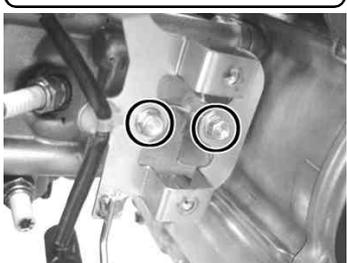
・仮止め部を規定トルクにて締め付ける。
まずナット２個から締め付け、その後マウントボルト３本を締め付ける。

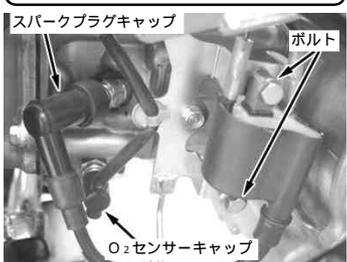
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
：２９Ｎ・ｍ（３.０ｋｇｆ・ｍ）
マウントボルト
：４９Ｎ・ｍ（５.０ｋｇｆ・ｍ）

・各締め付け箇所をチェックする。

●エンジン取り付け

・ホンダ純正サービスマニュアルを参照してエンジンを車両に搭載し、各配線を接続する。
・イグニッションコイルステーをシリンダーに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

・イグニッションコイルを２本のボルトにてイグニッションコイルステーに取り付ける。O_2センサーキャップをまっすぐに接続する。
スパークプラグキャップを取り付ける。
・O_2センサーの配線を接続する。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

●冷却水の注入

・冷却水をラジエターキャップの口から注入し、一杯まで入れる。
・エンジンを始動し、数分間アイドリングさせた後、スロットルを数回軽くスナップし、冷却水経路のエアを抜く。この際に各部に水漏れが無いか点検を行う。
・エンジンを停止し、冷却水が減っている場合は再度一杯まで冷却水を補充する。ラジエターキャップを取り付ける。
・ラジエターカバーをボルト３本にて取り付ける。

※冷却水経路のエアは残っている場合があり、抜けるまで多少時間が掛かるため、リザーブタンクの液量の点検を随時行う事。

●カバー類取り付け

・ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、取り外したカバー類を取り付ける。

●クラッチセンタースプリングについて

・Ｓステージｅｃｏやマフラー等の組み合わせによりドライブベルトの滑りが生じる場合があります。

●ウエイトローラーのセッティングについて

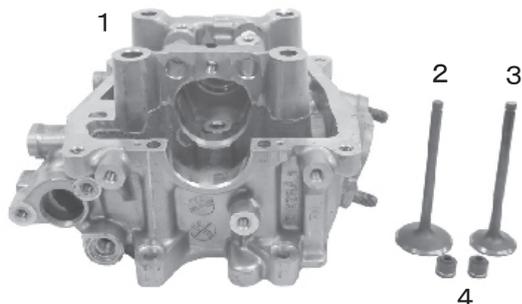
・ウエイトローラーのセッティングにより更にＳステージｅｃｏの性能を発揮することが出来ます。
・ウエイトローラーは装着パーツにより異なるので下表を参考にセッティングを行って下さい。
※作業には特殊工具が必要です。

装着パーツ		推奨 ウエイトローラー
プーリー	マフラー	
ノーマル	ノーマル	１０ｇ×６ｐｃｓ
	弊社製※	
ハイスピードプーリーキット （０２−０１−００２５）	ノーマル	１０ｇ×６ｐｃｓ （プーリーキット付属品）
	弊社製※	

※パワーサイレントオーバルマフラー、サイレントスポーツマフラーを示す。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４−００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１−２５−１３５７ FAX ０７２１−２４−５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル ０７２１−２５−８８５７
URL http://www.takegawa.co.jp

シリンダーヘッドセットについて

ウォータージャケット位置が大きくずれたシリンダーヘッドにて弊社ボアアップキットを使用すると、場合により燃焼室とウォータージャケットが吹き抜け、エンジンに悪影響を与えてしまうことがあります。
弊社ではボアアップキットに適した位置にウォータージャケットの通路を配したシリンダーヘッドセットを用意しております。上記のような事態になる前に是非ご活用下さい。
なお､シリンダーヘッドセットは弊社ボアアップキットをご購入頂いた方のみを対象とさせて頂きます。ご購入の際には、ご面倒ですがキットを梱包している箱の商品ラベルを切り取り、注文書へ貼り付け頂くと共に必要事項をご記入のうえご郵送下さいますようお願い致します。
※シリンダーヘッドセットにはバルブスプリング周辺のパーツが付属しておりません。お手持ちのヘッドから組み替える、もしくは別途ご用意の上、組み立て作業が必要です。

シリンダーヘッドセット商品内容

番号	部　品　名	個数
1	シリンダーヘッドＡＳＳＹ．（ＥＸスタッドボルト付）	1
2	ＩＮバルブ	1
3	ＥＸバルブ	1
4	バルブステムシール	2

シリンダーヘッドセット注文書

株式会社 スペシャルパーツ 武川 行

お名前　　　　　　　　　　　　　　　　　　　様

ご住所

お電話番号

車種　　　　　ＰＣＸ

フレームＮｏ.

ご注意
お支払い方法は代引のみとなります。

対象フレーム No.	品番	品名	定価（税抜）
JF28-1000001 ～ 1099999	０１—０３—００２１	シリンダーヘッドセット	￥３２，０００

このキットを梱包している箱の商品ラベルを切り取り、下の枠内にのりやテープ等で貼り付け、固定して下さい。
※ラベルの添付が無い場合、シリンダーヘッドセットを購入して頂く事が出来ません。ご注意下さい。

商品ラベルをお貼り下さい